



健康社会学研究会

ニュースレター No.88

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科（担当 森川 洋）

FAX 03-5860-4945 E-mail : h.morikawa@thu.ac.jp

ニュースレター NO.88/2019年1月 編集担当：杉田秀二郎

2月 第60回 健康社会学セミナーのご案内

テーマ：そこで多職種のみんなは考えた！

「コモンスクアプローチ」って何だろう？

何ができるのか？

第1部 基調講演

『歯科保健を通してコモンスクアプローチを考える』

講師：安藤 雄一 氏（国立保健医療科学院 統括研究官 地域医療システム研究分野）

第2部 グループワーク

田村 光平 氏（東京都多摩小平保健所）

高澤 みどり 氏（市原市子育てネウボラセンター）

コーディネーター：齊藤 恭平 氏（東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科教授）

日時：平成31年2月16日（土）14時～17時（受付13時30分～）

会場：東洋大学 朝霞キャンパス

参加費：会員無料 非会員2,000円

学生（院生除く）500円

【会場アクセス】

●東武東上線「朝霞台」駅・JR 武蔵野線「北朝霞」駅より徒歩15分

セミナー終了後、朝霞台駅周辺で懇親会を予定しております



第125回 月例会のご報告

日時：平成30年12月8日(土)15時～17時

会場：国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス

テーマ：学校を核としたヘルスプロモーション活動の可能性 ～保健学習の視点から～

報告者：長岡知氏(順天堂大学スポーツ健康科学部)

今回の定例会では学校におけるヘルスプロモーション活動の展開について、学校で行われる保健学習の視点から「学校、家庭、地域、街へ」の展開の可能性について検討しました。

I Life long for Health

＜保健学習の役割と期待＞

学習指導要領解説では保健学習(小学校体育科「保健領域」、中学校「保健分野」、高等学校「科目保健」)を発達段階に応じて個別的・系統的に学ぶことが重要とされています。しかし、現状では学校における「保健学習」は「アメフリ保健」(rainy days lessons)、「暗記保健」と揶揄されるよう質・量ともに低調と言わざるえない状況です。

近年、子供を取り巻く様々な健康問題に対応するためにはヘルスプロモーション活動における「個人技術の開発」に位置付く保健学習が生涯健康学習において担う役割と期待とは何かを確認することは重要です。



II Setting for Health

＜「* *」をたくさんつくれる学校＞

学校は子供たちにとって健康で安全な場所、そして生涯にわたり健康で幸福な人生を送るための学びの場となります。

ヘルスプロモーション・スクールの取組みは子供の生活、学習、仕事(キャリア)を高めるために、いくつかの「* * (ex.笑顔)」をつくるための学校全体としてのアプローチです。そこには新たな健康を創造するための「発想転換」と「連携・協働」による「シクミづくり」、ヘルスプロモーターとしての教員養成「ヒトづくり」が鍵となります。(運営委員:長岡知)

「保健授業」への期待

～現代的な健康課題への対応～

□ 生活習慣病への対応

・個人のライフスタイルを健康的なものに管理し改善する能力を育成

□ ヘルスプロモーションへの対応

・個人のライフスタイルの変革に止まらず、その個人を取り巻く環境をより適切なものへと変革していける能力の育成

□ 青少年の健康問題への対応

・深刻化する現代的課題において、学校教育活動全体をととして「課題を解決する能力」(「生きる力」)の育成が求められている。

□ ヘルス・リテラシーへの対応→「保健」の存在意義

・健康文化の担い手・作り手として子供が自立し、生涯にわたり公共的な健康文化づくりの実践に参加し、健康の主権者として公共的責任を果たしていける保健的教養ともいえる基礎・基本を育てる。

ヘルスプロモーションの考え方

(WHO1986年:オタワ憲章・2005年:バンコク憲章)

学校にける新たな健康への発想転換

- ・「病気やけがをした特定の人々が対象」
→ 「学校に関わる全ての人々を対象」
- ・「児童・生徒の健康」
→ 「家庭・学校・地域社会の健康」
- ・「病気を治す・予防・守る」
→ 「健康を創造する」
- ・「養護教諭・保健体育教諭中心」
→ 「全教科・全教員・保護者を中心に」

水平的連携・協働(空間:教室、学校、地域、街、機関)
+ 垂直的連携・協働(タイム:学校種、世代)

事務局より

<新入会員紹介(敬称略)>

安藤雄一(国立保健医療科学院)
熊谷麻紀(松本大学人間健康学部)
小比田協子(座間市健康部健康づくり課)
推野万里子(草苑学園 草苑保育専門学校)
手塚崇子(川村学園女子大学)
寺岡かおり(順天堂大学大学院スポーツ健康科学部)
細川佳能(日本女子体育大学大学院)
堀 純子(洗足子ども短期大学)
八塚雅幸(三郷市役所プロジェクト推進課)
八巻樹菜(市原市役所子ども未来部子育てネウボラセンター)

<書籍のご案内>

- ・「事例分析でわかるヘルスプロモーションの『5つの活動』
～Health Promotion Action Means」健康社会学研究会編(ライフ出版)
- ・定価: ¥2,500+消費税
- ・購入方法
会場販売(3割引 ¥1,900): 当研究会セミナー・月例会の際に販売。
Amazon.co.jp より定価にて販売。

本研究会の特色は、様々な分野で日頃より活動し、「人々の健康」をコンセプトに実践の世界と理論の世界を行き来しようとしている人たちが集っているという点にあります。本書は、そういった会員の皆様より寄せられた具体的事例を取り上げ、「ヘルスプロモーションの5つの活動」という視点から検証しています。

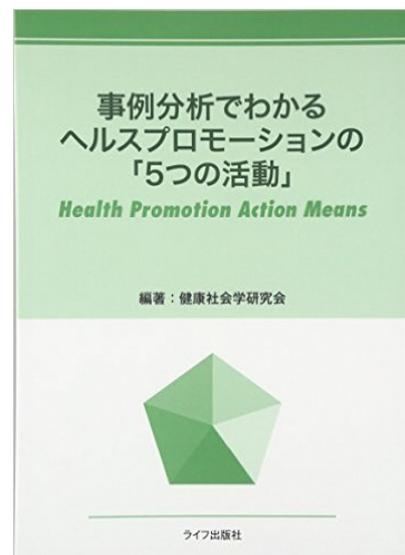
会員の皆様にはすでにお送りしておりますが、関係各所にぜひご宣伝ください。事務局には本書のチラシがございます。必要に応じ、チラシをお送りしますので、事務局まで直接ご連絡ください。

ウェブ上では「書名(事例分析でわかるヘルスプロモーションの「5つの活動」)」を検索エンジンにかけると、ネットでの購入が可能です。

なお本研究会主催のセミナー・月例会・日本公衆衛生学会自由集会の際に直接会場にてお求め頂くと3割引(税込み 1,900 円)での販売を行っております。

また本書に関するご意見、コメントなどもぜひお寄せください。よろしく願いいたします。

☆残部に限りがございますが、本研究会に新規ご入会いただいた皆様には、本書を差し上げます。



＜ニュースレターの電子化及び紙媒体での発送の継続＞

前号まで、ニュースレター電子化に伴い、郵送での発送の縮小化をお知らせしておりましたが、引き続きすべての会員の皆様には、紙媒体でもニュースレターをお送りすることとなりました。なお事務局にメールアドレスを登録されている会員の皆様には、これまで同様、メール配信もいたします。またメールアドレスを登録されていても、所属先のサーバー上で弾かれてしまうこともあります。配信を希望される方は、受信可能なメールアドレスをお知らせください。よろしくお願いいたします。

＜平成 30 年度会費納入のお願い＞

毎年会費の納入についてご協力頂きありがとうございます。今年度会費の納入がまだお済みでない方は、同封の払込票、もしくは銀行振込にて平成 30 年度会費の納入をお願いいたします。（既にお振込みいただいている場合、払込票は同封しておりません）

会費納入先

郵便振替:00100-8-41025

銀行口座:

みずほ銀行広尾支店 普通 1842122 健康社会学研究会 代表 松岡正純

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900) 当座 〇一九店(ゼロイチキュウ店:店番019)

0041025 ケンコウシャカイガクケンキュウカイ

＜ご住所、所属先の変更＞

研究会への登録情報が変更された場合、事務局までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

＜平成 30 年度退会届＞

必ず平成 31 年 3 月 31 日(日)までにご提出ください。

なお平成 31 年 4 月 1 日(月)以降に、30 年度での退会のお申出をいただきましても、お受けすることは致しかねます。

＜月例会報告者の募集(随時受け付け)＞

学会報告や論文の投稿を考えている方、学位論文作成中の方、月例会で報告してみませんか。仮テーマ、発表のご希望時期を事務局へお知らせください。